

アーカイブ 通信 No.34

◆編集・発行：
ネットワーク・市民アーカイブ
<http://www.c-archive.jp/>

事務局

〒189-0012 東京都東村山市萩山町 2-6-10-1F

tel・fax : 042-396-2430

E-mail : info@archive-tama.sakura.ne.jp

会員募集中

◆正会員 1 口 6,000 円、賛助会員 1 口 3,000 円 / 年
ゆうちょ銀行 振替口座 00120-9-729226
口座名：市民アーカイブ ※団体会員 2 口～

新宿にあるミニコミ・自主出版物取扱書店「模索舎」は1970年10月28日に創業し、今年で創業55周年を迎える。その歴史をまとめた書籍を今年8月に刊行することが決まった(出版社は「ころから」)。2022年から制作を始めて丸3年、タイトルは『自由への終わりのなき模索——新宿、ミニコミ・自主出版物取扱書店「模索舎」の半世紀』である。刊行主体は、模索舎50周年(20年)を記念する集会をきっかけに組織された、模索舎アーカイブズ委員会(模索舎とは別組織)であり、元専従会員2名(細田伸昭、安藤順)と、社会運動・出版メディア論を研究している私の合計3名で活動を行っている。

◆模索舎の歴史をまとめる

新宿にあるミニコミ・自主出版物取扱書店「模索舎」

本書の柱となっているのは、「共同経営とは何か」という点だ。模索舎を語る言葉は数多く、曰く「ミニコミ書店」、「新左翼の書店」、「過激派の書店」、「学生運動あがりの書店」、「若者が開業した書店」、「独立書店」などなどがある。それ



清原 悠

(模索舎アーカイブズ委員会(CMA) 社会学者)

社会運動の資料を
収集・保存・公開することは
私たちを自由にしてくれる
——模索舎アーカイブズ委員会の活動から



模索舎(2023年)

ネットワーク・市民アーカイブ 資料保存場所を 探しています

2014年の開館以降、当会は市民活動資料の収集・保存活動を継続してきました。知名度も広がり、開館5年目には市民アーカイブ多摩内の書庫だけでは保存しきれなくなり、21年に隣接する温室をNPO法人グリーンサンクチュアリ悠のご好意で「岸中書庫」として改装し、バックナンバーの保存に使用させていただいてきました。

その後、緑地保全を主目的とするグリーンサンクチュアリ悠は、岸中書庫を含む一部の建物を取り壊して緑地に戻していくことになりました。

そのため、現在岸中書庫に保存中の資料(段ボール約100箱)と書架を保存するためのスペースを探しています。東京・多摩地域内で10～13㎡(4畳前後)の保存場所を提供くださる方、お心当たりの方は、ご連絡をお願いします。

に比して、「共同経営の書店」という視点はほとんど提示されてこなかった。段ボール箱にして50箱超分の資料を読み解き、多くの人にインタビューを重ね、制作主体である模索舎アーカイブズ委員会で議論を繰り返して見出した、模索舎を駆動してきたエンジンがそれである。

畢竟、本書では多くの人の人生と模索舎との折り重なりを盛り込むことになり、864頁の大部になってしまった。中身については本書を読んでいただく他ないが、税込で予価7700円となつてしまったことから、気軽にご購入くださいとも言えない。そこで、まずはお気軽に「我々」のものである公立図書館に購入依頼をかけることもに、ここは思い切って各位の年間読書費を丸ごと投入する覚悟で、清水の舞台から飛び降りるつもりで購入いただきたい。

関係者18名(延べ44名分)ものオーラルヒストリー、千点以上の歴史資料(図版、テキスト)の掲載、数百もの脚注によってオルタナティブな出版流通の歴史を明らかにする本書は、最低でも1年間は楽しめる情報量を有していることは間違いない。とはいえ、中身が全く分からないものには大枚をはたけないという声は